

2012年3月9日

## マーケットトピックス

### 本日のトピックス

- ・日本 経常収支マイナス4,373億円
- ・本日のおまけチャート  
 ギリシャ1年債利回り1000%台へ・ナスダックとアップル株価

### 【日本 経常収支 マイナス4,373億】

3月8日発表の日本の1月の経常収支、マイナスの4,373億円。

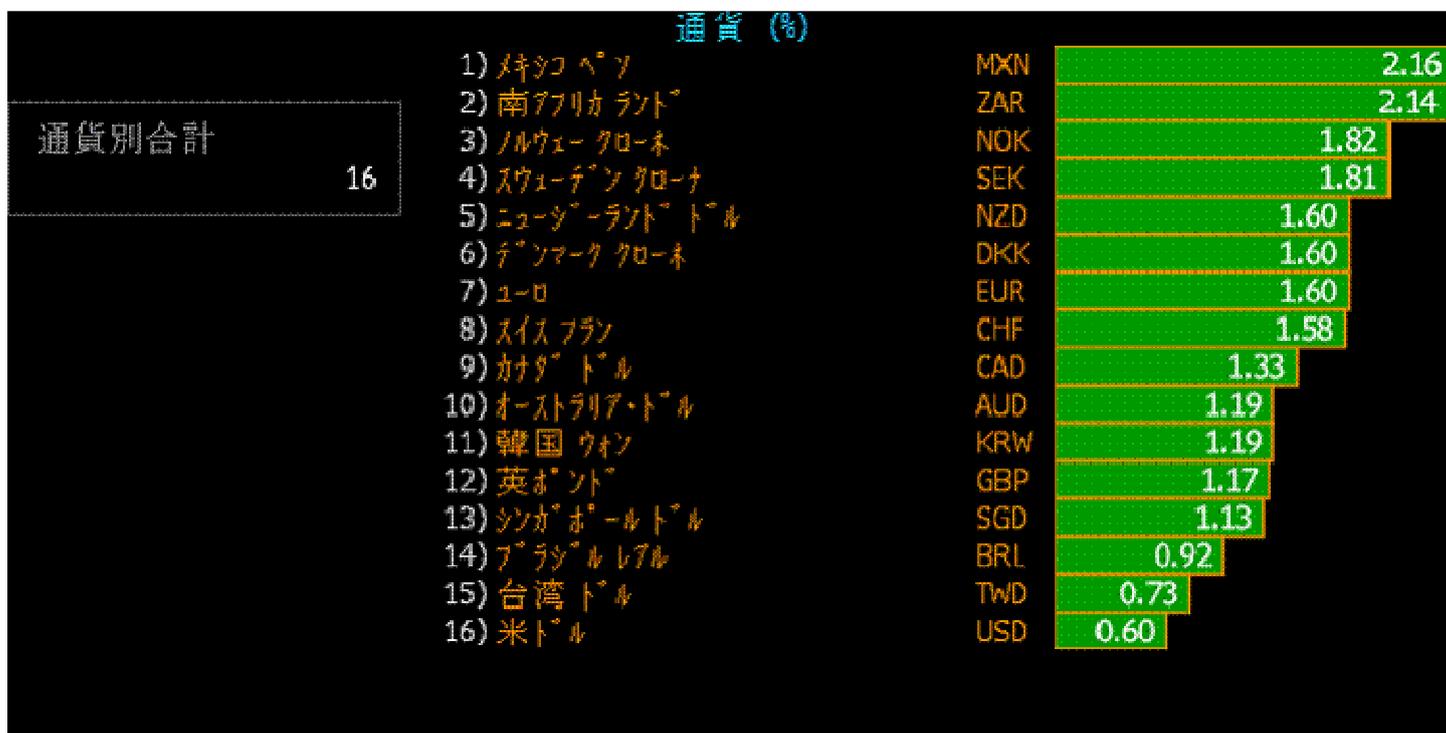
この発表にマーケットは反応しドル円は上昇。

ここ最近では、日本の経常収支にマーケットが反応するような展開はほとんど見られなかったのだが、こういった動きからも、マーケット構造の変化が確認できる。

この日は円が主要国通貨の中で最も売られた。

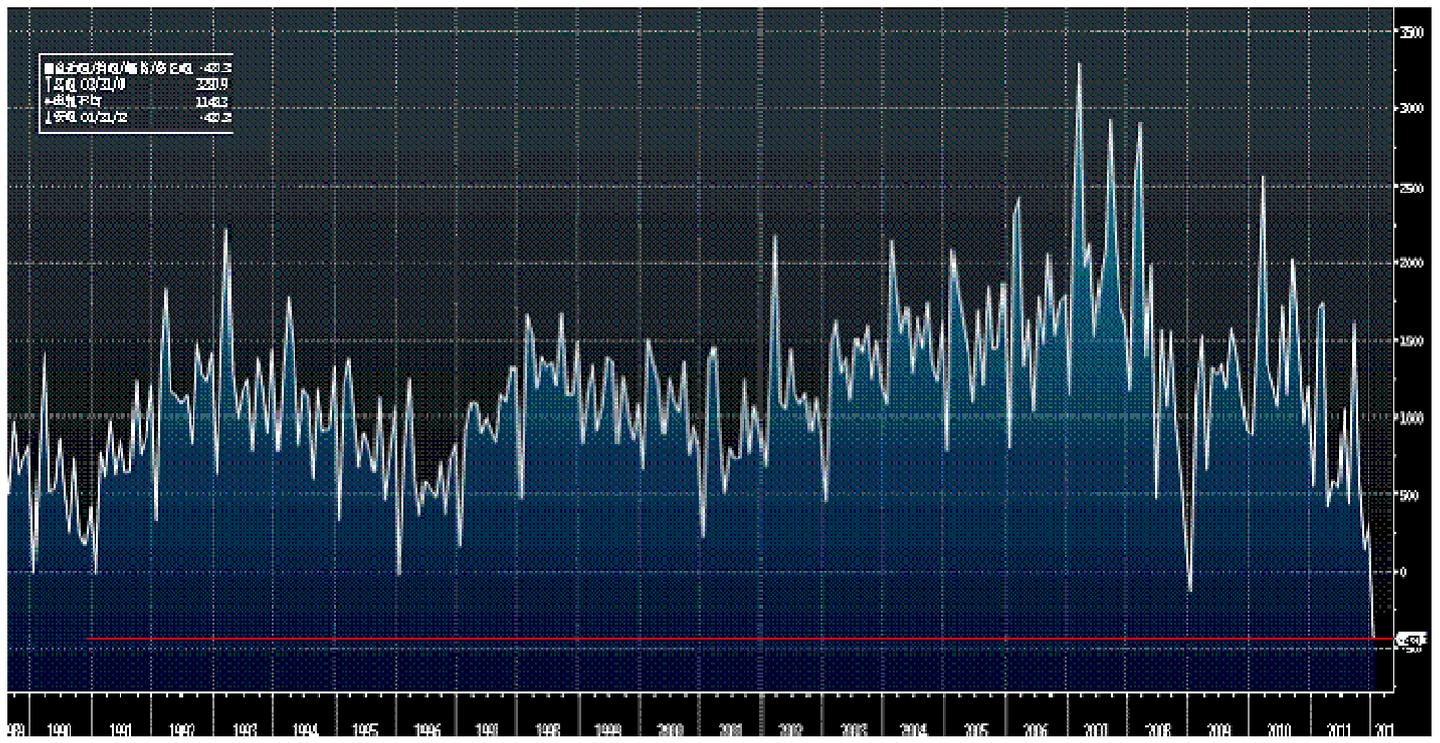
図1は、円の主要国通貨に対する騰落率

(図1:円 対主要国通貨の騰落率)



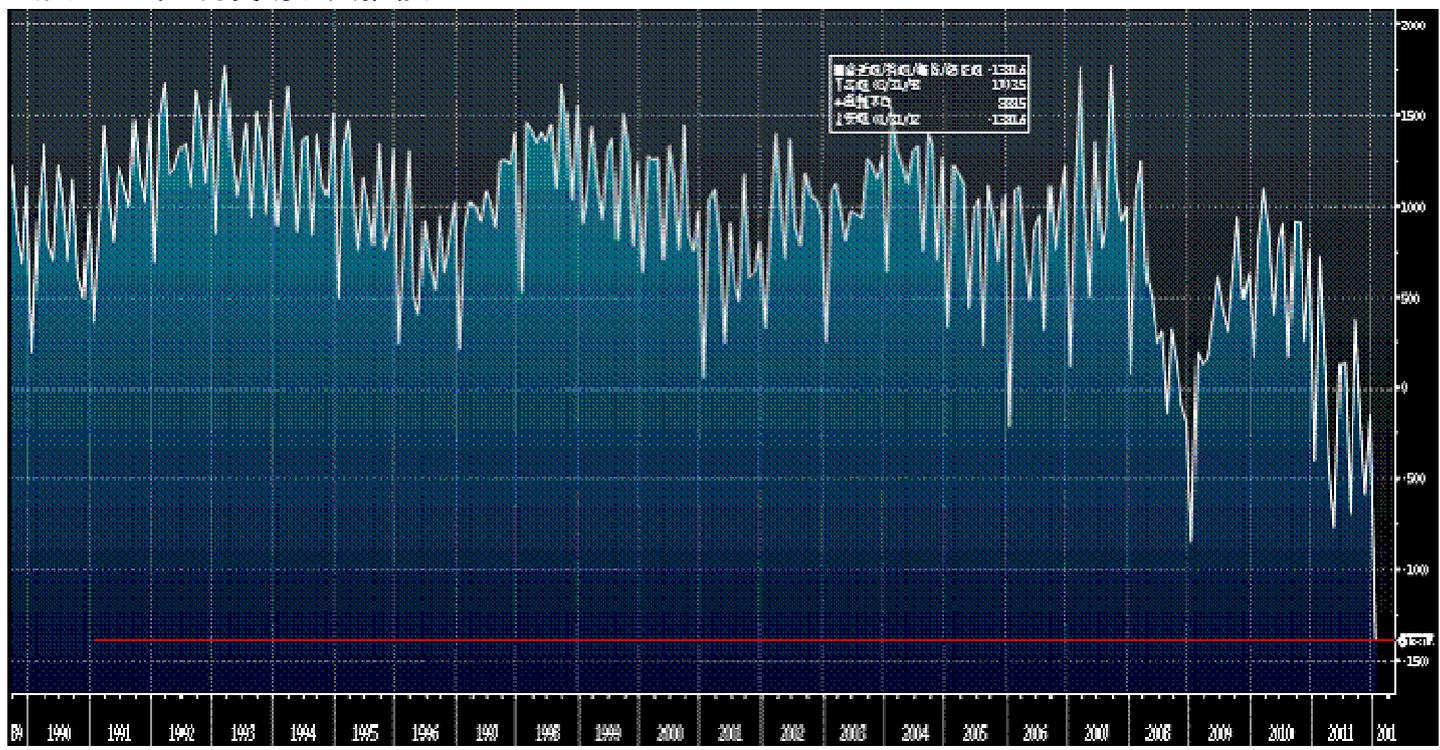
(出所:ブルームバーグ)

図2は、日本の経常収支の推移。計測可能な1985年以降で最大の赤字。  
 (図2:日本 経常収支推移)



(出所:ブルームバーグ)

図3は、貿易収支。こちらも過去最大の1兆3816億の赤字。  
 (図3:日本 月貿易収支推移)



(出所:ブルームバーグ)

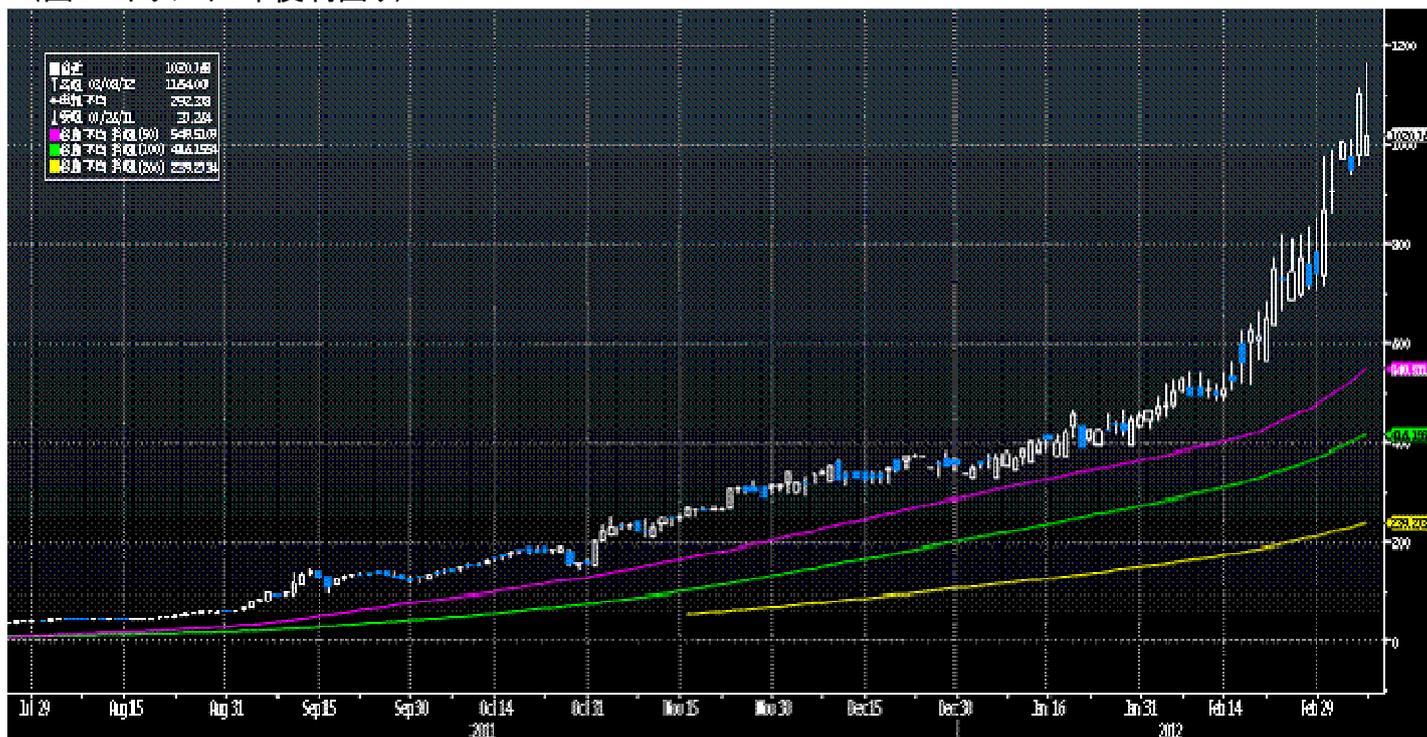
図4は、ドル円の日足チャート。  
再び82円台をターゲットとして視界に入れ始めた。  
(図4:ドル円 日足)



(出所:ブルームバーグ)

**【本日のおまけチャート】**

ギリシャ債務交換交渉、なんとか最悪の事態は避けられそう。  
それを受けてこの日のマーケットは全般的にリスク・オンの展開を見せる。  
しかし、ギリシャ債券利回りの上昇はとどまることを知らない。  
図5は、ギリシャ1年債利回りチャート。既に脅威の1000%越え。  
(図5:ギリシャ1年債利回り)



(出所:ブルームバーグ)

話題は急に変わるが、昨日、新しいIPADのリリースを発表したアップルの株価、その上昇ピッチは、ものすごい。しかし、それだけにバブル的な警戒感も漂う。

図6は、そのアップルの株価の動きとナスダック指数を重ねたチャート。

ご存知の通り、ナスダックは2000年に急騰、急落の動きを見せ、その時の価格を未だに回復することは出来ていない。その当時のナスダックの動きと現在のアップル株の上昇が非常に似ているとマーケットでは話題になっている。

(図6:ナスダック指数／白・アップル株価／オレンジ)



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。